

入院診療計画書② 腹腔鏡下結腸・直腸切除

1枚目 (全2枚)

ID: 患者ID _____

新規作成日: 新規作成日 _____

氏名: 氏名 _____

日付						
経過	2日前	1日前	術前	術後	1日後	2日後
目標	不安の表出ができる		疼痛のコントロールができています		食事摂取行動に関する指示を守ることができる	
	手術について理解できる		身体的準備ができています		離床ができる	
注射			午前中に手術の場合は手術室にて点滴を行います。午後手術の場合は手術前に病棟にて点滴が始まります。	手術後も持続して点滴があります。	点滴	点滴
投薬	常用薬は全て持参し看護師に御報告ください。				お腹の動きをよくするために、昼から内服が始まります。	
検査					朝 採血	
放射線	Xray 入院後腹部X線撮影があります。			Xray 術後にポータブルでX線撮影	Xray 午前中に腹部のX線撮影	
処置	検温 ・入院時、午後、就眠前	検温 ・午前、午後	検温 ・起床時、出棟時	検温 ・手術後適宜検温	検温 ・夜間、起床時、午前、午後、就眠前	検温 ・起床時、午前、午後、就眠前
				術後は背中から痛み止めが持続で注入されます。	背中の痛み止めを追加します。	
				痰が出やすいように吸入を行います。	痰が多い場合は吸入をします。	
				心電図モニターがつきます		
	入院時に体重測定			酸素マスクをつけます。 血栓予防のための機械を足に巻きます。	午前中に体重測定	
食事		昼食後からは絶食。 飲水は手術当日の朝6時まで可能です。	朝の6時から絶飲食		回診終了後、問題なければ飲水を再開します。	
清潔		入浴をして身体をきれいにしましょう。その際、おへそをきれいにします。	朝のうちに洗面・歯磨きは済ませておきましょう。	うがいや洗面は看護師がお手伝いします。	身体を拭き着替えをします。	
排泄			手術の30分前にはトイレは済ませておきましょう。	膀胱まで管が入っていますので尿は自然にバッグに排泄されます。お腹の動きを観察していきます。排ガスがあれば教えてください。		
活動	安静度	活動の制限はありません。		術後はベッド上安静です。	手術後の合併症予防のため看護師とともに離床していきます。管があったりめまいなどがあるので一人では危険な場合があるので必ず看護師と一緒に歩きましょう。	痛み止めを使いながら身体を動かしていきます。活動の制限はありませんが点滴や管がありますので、1人での活動は看護師に確認してから行うようご協力下さい。
	リハビリ	リハビリテーションの予定はありません				
看護ケア	入院時オリエンテーションを看護師が行います。			転落防止のためにベット柵を両側に装着します。	朝9時から回診が始まります。終了するまでベッドでお待ち下さい。	
指導	麻酔科医と手術室の看護師の訪問があります。わからない事があればお聞きください。	手術前オリエンテーションとして必要物品の確認と血栓予防についてパンフレットを用いて看護師が説明をします。	入れ歯や時計は外し、その他貴金属はセーフティボックスに入れるか、ご家族の方に預けてください。	痛みなどはがまんせず看護師にお知らせください。手術後に医師よりご家族へ手術の説明があります。ご本人へは麻酔が覚めたころ説明があります。		
	手術説明の日時は入院後病棟にてお知らせします。説明の際は家族の同席をお願いします。		手術室へはご家族も同行していただきます。手術中は病棟で待機してください。病棟を離れるときには看護師に声をかけてください。	術後はお腹にも管が入っています。抜けないようにテープでの固定を確認させていただきます。医師の指示があるまで自分では抜かないで下さい。		






















入院診療計画書② 腹腔鏡下結腸・直腸切除

2枚目 (全2枚)

ID: 患者ID _____

新規作成日: 新規作成日 _____

氏名: 氏名 _____

日付							
経過	3日後		4日後		5日後		
経過	6日後		7日後				
目標	栄養摂取障害の症状・所見がない				日常生活の注意点について理解できる		
	食事摂取行動に関する指示を守ることができる						
	離床ができる						
	排便状態に問題がない						
注射							
投薬	 痛み止めの内服が可能となります。持参薬は医師の指示で再開となります。						
検査	 朝 採血				 朝 採血		
放射線	 午前中に腹部のX線撮影				 午前中に腹部のX線撮影		
処置	 検温 ・起床時、午前、午後、就眠前		 検温 ・午前、就眠前				
	痰が多い場合は吸入をします。		 回診時背中に入っている痛み止めの管を抜きます。				
					 午前中に体重測定		
食事	 全粥が開始となります。病院で出されたお食事をお召し上がり下さい。それ以外の飲食をされる場合は看護師に確認してください。				 米飯		
	 食事開始にむけ看護師より注意点の説明があります。食後の不快感やお腹の痛みがある場合はそのままにせず看護師にお知らせください。食事開始に伴い便通がゆるくなる事があります。排便のコントロールについては看護師にご相談ください。				 食事の制限はありません。消化の良いものをよく噛み、暴飲暴食は避けましょう。制限のある方は看護師がご説明します。		
清潔	 身体を拭き着替えをします。		 創の状態が安定し、管類が抜けていれば医師の許可によりシャワー浴が可能となります		 退院1週間後より入浴が可能です。		
排泄	膀胱まで管が入っていますので尿は自然にバッグに排泄されます。お腹の動きを観察していきます。排ガスがあれば教えてください。		 状態に合わせて膀胱に入っていた管を抜きます。その後は排尿毎に尿量測定を行ってください。トイレの際は看護師を呼んでください。		 便秘に注意し、水分をとることと、適度な運動を心がけましょう。		
活動	安静度	 術後は身体を動かすことで合併症予防になります。御手伝いしますので頑張って動くようにしましょう。		活動の制限はありません。		 活動の制限はありません。激しい運動は避け、御仕事のある方は医師と相談してからはじめましょう。	
	リハビリ	リハビリテーションの予定はありません					
看護ケア	朝9時から回診が始まります。終了するまでベッドでお待ち下さい。				回診で問題なければ退院となります。状況により退院日は前後することがありますのでご了承下さい。		
指導					看護師より退院の書類、次回外来について説明があります。お部屋でお待ちください。		
					 パンフレットを用いて、食事、安静、清潔についてご説明します。退院後の療養生活について質問があればお受けします。		